

# 付 表

## 浦 和 市 主 要 年 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
約2万5千年前	旧石器時代	市域にはじめて住むようになる	1524	大永4年	北条氏綱が三室郡に制札を出し、軍勢の乱暴を禁止する
約8,000年前	縄文時代	この頃白幡に、たて穴住居ができる	1560	永禄3年	太田賢正が潮田資忠に、浦和・木崎・領家などを与えたという
約6,000年前	"	このころは、今の東京湾が深く入りこみ、大谷場などの貝塚ができる	1572	元龜3年	北条氏が氷川女体神社の社領を安堵し、竹木類の乱伐を禁止する
約2,000年前	弥生時代	このころ浦和でも、水稻耕作が始まる	1590	天正18年	浅野長吉が浦和市に対し禁制を発しけんか、口論、押売などを禁止、市を公許する
7世紀	古墳時代	この頃大久保や土合に古墳が築かれる	1591	" 19年	土合・三室などで検地が行われる
807	大同2年	大田窪の行弘寺、三室の報恩寺が創建されたという	1594	慶長9年	徳川家康が大久保長安に命じて、日本橋を中心として各街道に一里塚を築いた(市内は辻・常盤の2ヶ所)
813	弘仁4年	田島の薬王院が創建されたという	1609	" 14年	高力清長の追福のため、代官中村吉照が北浦和の廓信寺を創建する
820	" 11年	仲町の玉蔵院が創建されたという	1612	" 17年	沼影村で検地が行われる
829	天長6年	中尾の吉祥寺、本太の延命寺が創建されたという	1622	元和8年	保科正之を養育した見性院が没し、大牧の清泰寺に葬られる
830	" 7年	領家の長覚院が創建されたという	1629	寛永6年	伊奈忠治が尾間木に八丁堤を築き、見沼の一部を締め切り貯水池とする
932	" 9年	領家の明円寺が創建されたという	1665	寛文5年	幕府が中山道の伝馬宿に関する規定を定める(人馬各50)
866	貞観8年	大牧の清泰寺が創建されたという	1697	元禄10年	大門町が日光御成街道の宿駅となる
927	延長5年	この年延喜式が撰進され、その中に氷川神社・調神社などの名が見える	1727	享保12年	井沢弥惣兵衛が將軍吉宗の命により見沼溜井の干拓と新田の開発に着手見沼代用水路工事着工
1008	寛弘5年	三室の東漸寺が創建されたという	1728	" 13年	見沼代用水路工事完成
1184	元暦元年	大田窪の守光院が創建されたという	1731	" 16年	見沼通船堀閘門が完成し、通船をはじめ
1293	正応6年	三室の氷川女体神社に、この年の祭事用の木鐸がある	1832	天保3年	佐藤信淵が江戸を追放され、鹿手袋の永堀方に居住する
1309	延慶2年	白幡の医王寺にある市内最大の青石塔婆が建立される	1845	弘化2年	佐藤信淵が鹿手袋の永堀方で、「養蚕要記」を著す
1333	正慶2年(元弘3年)	氷川女体神社で性尊らにより大般若教の書写がはじまる	1858	安政5年	見性院尼の墓碑が清泰寺に建てられる
1335	建武2年	足利尊氏が佐々日郷を鎌倉の鶴岡八幡宮に寄進する	1861	文久元年	皇女和宮、降嫁で11月13日浦和宿を通過する
1337	建武4年(延元2年)	足利尊氏が一色範行に命じ調神社を造営させ、社領として5ヶ村を寄進したと伝えられる	1868	明治元年6月	武蔵県設置、市域はその管下となる
1350	観応元年(正平5年)	高師直が安保忠実到大窪郷を与える	"	" 10月	明治天皇、大宮氷川神社参拝のため星野家(旧本陣)に御宿泊
1351	観応2年(正平6年)	大久保地域の羽根倉で羽根倉合戦が行われる	1869	2年1月	武蔵県を廃し、大宮県とする
1382	永徳2年(弘和2年)	足利氏満が大牧村を法泉寺に寄進する	"	" 9月	大宮県を浦和県に改称
1385	至徳2年(元中2年)	佐々木持清が、兵乱で焼失した調神社の神殿を造営し、社田2ヶ村を寄進したと伝えられる	1870	3年1月	浦和県庁舎鹿島台に新築
1396	応永3年	日光輪王寺所蔵の奥書に「武州足立郡浦和の善賢律師右筆年70云々、応永3年丙子10月18日未時書写早とあり、今のところ浦和の地名が古文書にみられる最古のものである	1871	4年3月	浦和県が浦和郷学校を玉蔵院に開設
1415	" 22年	この年の市場祭文に、野田・大門市等の名が見られる	"	" 11月	浦和県を廃し、埼玉県を設置(12月1日浦和県庁舎跡に新超開設)
1451	宝徳3年	高博盛影は新座の大工二郎・三郎等に本太の氷川神社の神輿を造らせる			

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1871	4年11月	浦和郵便役所(後の郵便局)開設	1914	3年7月	浦和・越谷間乗合馬車開通
1874	7年12月	岸村を浦和宿に合併	"	" 8月	豪雨により、この月2回にわたり、荒川はん濫
1876	9年1月	県立学校内に医学校開設	"	" 9月	埼玉県師範学校新校舎落成
1877	10年6月	電信線が通じ電信分局設置	"	" 10月	町有共同墓地の余地がなくなり、鯛ヶ窪に新設
1878	明治11年 8月	浦和警察開署(従来本庁内)	"	" 12月	県物産陳列所、調公園内に開館
"	"	明治天皇、北陸巡幸途次新築の師範学校(鳳翔閣)行在所として御宿泊	1915	4年7月	尾間木・土合・六辻村旱魃被害
1879	12年3月	北足立・新座郡役所設置	1916	5年7月	公会堂完成、恭慶館と命名
1883	16年7月	高崎線上野一熊谷間開通、浦和駅営業開始	"	"	浦和一鳩ヶ谷間、鳩ヶ谷自動車のバス開通
1886	19年5月	県庁熊谷移転運動起る	1917	6年2月	県会議事堂落成
1888	21年3月	上町(現常盤)より出火、宿の約半分焼失	"	" 10月	大暴風雨により、浦和署管内全壊83戸半壊10戸余を出す
1889	22年4月	町村制施行により浦和町となり、市内の各村々の合併もすすみ谷田・木崎・三室・尾間木・六辻・土合・大久保・美谷本・野田・大門の各村が誕生	"	" 11月	鳩ヶ谷一大門間自動車運転開始
"	" 5月	町役場、浦和町、243番地に開庁	1918	7年6月	浦和農産市場(株)設立
1890	23年9月	県庁の位置を浦和町に定める旨の勅令が出る	"	" 11月	(株)武州銀行設立
1896	29年3月	(株)武州貯蓄銀行設立	1919	8年1月	(株)武州銀行本店開業
"	" 4月	郡廃置法を施行し、旧新座郡と旧足立郡の区域を合わせて新たに北足立郡とし、郡役所は従来どおり浦和に置く	"	" 8月	日本製麻(株)設立
1898	31年	市内の山田いち甘藷の良品種紅赤を発見	1920	9年6月	埼玉用達(株)設立、(釜車、火葬場を運営)
1900	33年4月	(株)浦和商業銀行設立	"	" 7月	田島ヶ原のサクラソウ自生地、天然記念物として内務省から指定
1904	37年7月	埼玉電灯(株)により、はじめて電灯がとれる	"	" 10月	第1回国勢調査実施
1906	39年4月	感化法施行(明治38年)で、埼玉学園開園(昭和7年4月に上尾に移転)	1921	10年4月	郡制廃止法公布
1907	40年8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・土合・六辻・西浦和方面の被害甚大、各所に救護所設置	"	" 8月	浦和より志木・大門へ自動車開通
1910	43年3月	特設電話開通(加入者84名)	"	" 11月	官立浦和高等学校創立(事務所は文部省内)
"	" 8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・土合・六辻・西浦和方面の被害甚大	1922	11年4月	官立浦和高等学校開校
1912	大正元年 9月	暴風雨により家屋の全半壊、電柱転倒多数、死傷者出る	"	" 10月	埼玉県教育会が埼玉図書館を設置、開館
"	" 11月	与野駅開設	"	"	町営住宅建設完成(36棟51戸)
1913	2年8月	豪雨により荒川がはん濫、大久保・土合・西浦和地区が大被害	"	"	町の紋章、懸賞募集により決定(昭和9年市制施行のとき、この紋章を正式に市の紋章と決定)
"	" 10月	県会議事堂竣工(総工費10万円)	1923	12年4月	郡制廃止法施行
"	" 12月	埼玉師範学校本館、講堂等が失火で全焼	"	" 9月	関東大震災により町内に被害(六辻土合地区等は倒壊家屋多数)
1914	3年1月	浦和簡易図書館開館(玉蔵院傍)	1924	13年4月	県立図書館建設
"	" 3月	浦和産婆学校開校	"	" 9月	女子師範学校校舎ほぼ完成、新校舎に移転
			"	" 12月	浦和一所沢間、乗合バス運行認可
			1925	14年3月	浦和一片柳一大宮間、乗合バス運行認可

## 付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1926	15年10月	私立京北高等歯科医学校、埼玉会館前に新築開校	"	" 3月	埼玉県南水道組合成立
"	" 11月	埼玉会館竣工	"	"	県立浦和第2高等女学校を女子師範学校に併設(4月開校)
"	" 12月	鶴屋自動車、浦和一大宮間の乗合バス運行を許可される	1935	10年3月	電話の自動化開始
1927	昭和2年2月	日本製麻(株)閉鎖	"	"	浦和主婦互助会を設立認可される
"	"	塚本・宿地内で大火	"	"	尚和園開設
"	" 3月	町立浦和商业学校開校(裏門通り兵林館借用)	1936	11年4月	小松原女子洋裁学校を創立
"	" 5月	浦和町職業紹介所開設	"	" 9月	北浦和駅開設
1927	昭和2年5月	中井銀行休業	"	" 12月	武州鉄道、大門一神根間延長開通
"	"	はじめての塵芥焼却場を字天王(現元町)に建設	1937	12年1月	埼玉県南水道組合事業開始
1928	3年8月	豪雨による大洪水で荒川筋に大被害	"	" 9月	防空体制強化のため防護団設立
"	" 10月	浦和商业学校の移転(稻荷丸から白幡)、町議会で可決	"	"	浦和中学校(現浦和高校)、領家の現在地に移転
"	" 12月	武州鉄道岩槻一大門間開通(昭和12年廃止)	1938	13年1月	浦和一所沢線の荒川に秋ヶ瀬橋完成
1929	4年11月	浦高同盟休校事件	"	" 4月	この月以降、統制経済推進のため商工業組合結成が進められる
"	"	大門銀行解散	"	" 7月	六辻村、町制施行
"	"	字名、区域地番等の改正はじまる	1939	14年3月	市営浦和(のちの高砂)公益質屋業務開始
1930	5年1月	蚕業取締所熊谷より浦和へ移転	"	" 6月	浦和商工会議所設立
"	" 6月	浦高同盟休校事件	1940	15年1月	所沢・浦和間直通バス運転
"	" 12月	埼玉師範学校本館、講堂、原因不明の火災で焼失	"	" 4月	私立高等女学校、領家に開設
"	" 12月	浦和駅東口、地下道完成により開設(12月27日営業開始)	"	"	三室村・尾間木村を浦和市に合併
1931	6年2月	見沼の通船、許可期間が切れ廃止	1936	" 10月	鈴谷の塵芥焼却場完成
"	" 9月	甘藷「紅赤」種発見者山田いち女「富民賞」受賞	1940	16年4月	小学校を国民学校と改称
1932	7年3月	埼玉県師範学校、再建築落成	"	"	市立高等女学校、元町の新校舎に移転
"	" 4月	木崎村・谷田村が浦和町に合併される	"	" 12月	対米英宣戦布告
"	"	埼玉学園、上尾町に新築移転	1942	17年4月	六辻町を浦和市に合併
"	" 8月	山本印刷争議	"	" 7月	北足立地方事務所開設
"	" 9月	東北線大宮一赤羽間電化	1943	18年4月	市立中学校(のちの市立高校)、白幡の六辻小学校を仮校舎に開校
1933	8年7月	副業指導所開所	"	"	県立男・女子師範学校が官立師範学校となり、男子部、女子部となる
"	"	県と埼玉共済会の合併で、埼玉社会館を岸町に設置	"	"	常備消防部をはじめて設置
"	"	大谷口の尚和園(養老、育児)設立認可(昭和10年開所)	"	" 7月	1県1行方針に基づき、武州銀行などが統合して埼玉銀行を創立
"	"	国道17号(新国道)志村一大宮間開通	1944	19年2月	日本放送協会浦和出張所設置
1934	9年2月	市制施行(11日)	"	" 10月	浦和保健所設置
"	"	浦和第二尋常小学校(現常盤小学校)火災により焼失	"	"	1県1紙方針に基づき、埼玉新聞社創立

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1944	19年12月	市立浦和青果市場を岸町6丁目に開設	1951	26年7月	農業委員会設置
1945	20年4~5	空襲を受け被害	"	" 11月	市役所北側に庁舎1棟増築
"	" 8月	終戦詔勅放送、無条件降伏(15日)	1952	27年3月	田島ヶ原サクラソウ自生地・野田の鷺およびその繁殖地が国の特別天然記念物に指定される
1946	21年2月	神社社格廃止、宗教法人として発足	"	" 6月	市立授産所設立
"	" 3月	埼玉軍政部、大宮市から浦和市(埼玉会館別館)へ移転	1953	28年2月	公会堂で市営結婚式開始
"	" 10月	選挙管理委員会設置	"	" 11月	市立結核療養所、三室北宿に開設
"	" 12月	火葬場を埼玉用(株)より譲り受け市営とする	1954	29年4月	埼玉大学経済短期大学部設置
"	"	第2次農地改革、自作農創設、農地委員会設置	"	" 7月	新警察法施行により、自治体警察廃止
1947	22年4月	6・3制男女共学の新教育制度発足(小学校・中学校と改称)	"	" 9月	市営総合運動場開設
"	"	岸・常盤・調宮・木崎・尾間木・白幡・六辻・土合・大久保・大門・野田の各中学校創設	"	" 10月	市の広報で超短波無線放送開始
"	" 4月	選挙法が改正され、はじめて市長の公選実施(5日)、参議院(20日)、衆議院(25日)、市会(30日)、県会(30日)の各議員の選挙実施	1955	30年1月	土合村・大久保村を浦和市に合併
"	" 5月	日本国憲法施行、町内会部落会の解散に関する政令交付施行	"	" 4月	私立都北学院高等学校が市に移管され、私立都北高等学校設置
"	" 10月	北浦和駅西口開設	"	" 9月	陸上自衛隊埼玉地方連絡部設置
"	"	埼玉総合職業補導所設置	"	" 10月	県庁舎・議事堂完成、落成式挙行
"	"	浦和市授産所設置	1956	31年4月	美園村が大門・野田・戸塚の三村合併で発足
"	"	浦和競馬場設置	"	"	市立浦和商业高等学校県移管
1948	23年3月	6・3・3制教育施設組合発足	"	"	市営別所沼公園県移管
"	"	自治体警察制度により浦和市警察署発足	1957	32年5月	県立美術館、別所沼畔に開館
"	" 4月	新制高等学校発足	"	" 7月	豊多摩刑務所が浦和刑務所と改称
1948	23年4月	消防本部及び消防署設置	"	"	消防庁舎、常盤に新築落成
"	"	浦和競馬場開催(7月より公営となる)	1958	33年9月	台風22号の豪雨により市内各所に被害
"	" 6月	日本最初の市立保育園(岸町保育園)設置	"	" 11月	与野駅東口開設
"	" 10月	第1回教育選挙実施	"	"	住宅団地完成、入居開始(上木崎団地72戸・領家立野団地208戸)
"	"	埼玉県庁放火により焼失	1959	34年1月	埼玉大学付属小学校、火災で消失
1949	24年1月	浦和少年鑑別所開設	"	" 4月	戸田町一部(西浦和)を浦和市に編入
"	" 3月	県児童中央相談所、与野(二度栗山)から仲町に移転	"	"	私立双恵中学校創立
"	" 5月	三室芝原の浦和地区指導農場を市で買収、浦和市農業相談所として発足	"	"	私立小松原高校(男子)開校
"	"	旧浦高・旧埼玉師範・旧埼玉青師を包括し埼玉大学設置	"	" 5月	清肥場落成、操業開始
"	" 6月	国民健康保険事業開始	"	"	市民相談室新設
"	" 12月	浦和一女、バスケットボールで3冠王(全日本バスケット女子総合選手権・国体・高校総合で優勝)	"	" 7月	県自治会館新築落成
1950	25年3月	県議会県庁建設委員会で、県庁舎を浦和に建設することを決定	"	" 8月	西堀農事研究所開設
"	" 4月	県立浦和第二女子高校、浦和西高校と改称	1960	35年4月	浦和市青少年育成事務局設置
"	"		"	" 5月	県立図書館新築落成

## 付表

西暦	年代	事項	西暦	年代	事項
1960	35年9月	初の名誉市民として高橋泰雄氏推挙	1971	46年1月	市役所、埼玉大学教育学部跡地（現在地）に移転
1961	36年2月	県衛生会館新築落成	"	" 2月	市民会館落成
"	" 4月	県立浦和工業高等学校開校	"	" 6月	県立秋ヶ瀬公園、荒川河畔に一部開園
"	" 7月	南浦和駅開設	"	" 7月	市民プール完成
1962	37年4月	第1回花いっぱい大会開催	"	" 11月	名誉市民に相川宗次郎・中田一信の両氏推挙
"	" 5月	美園村に一部（野田、大門）を浦和市に合併	1972	47年4月	サクラソウを市の花に正式決定
"	"	住宅公団南浦和団地（1,252戸）完成 入居開始	"	"	三室支所、公民館新築落成
"	" 9月	母子福祉センター設置	"	" 6月	郷土博物館開館
"	" 12月	県農林会館新築落成	"	" 9月	北公園（老人公園）開園
1963	38年4月	市立南高等学校開校	"	" 12月	白幡団地完成、入居開始
"	"	埼玉大学工学部設置	1973	48年3月	尾間木支所、公民館新築落成
"	" 9月	名誉市民に小谷野伝蔵・長谷川カナの両氏推挙	"	" 4月	さくら草学園（精神薄弱児通園施設） 領家に設置
"	" 10～ 11月	第18回国体（山口県）でサッカー完全優勝（浦和市立高校・浦和サッカー クラブ・埼玉教員クラブ）	"	"	武蔵野線開通
1964	39年4月	市立南高等学校新校舎、辻に落成移 転（第1期校舎新築）	"	"	赤城少年自然の家落成
"	"	浦和商工ビル新築落成	1974	49年1月	市立図書館、北浦和に開館
"	" 7月	埼玉大学下大久保（現在地）に移転 開始工学部移転	"	" 4月	さくら草公園、荒川河畔に開園
1965	40年6月	住宅公団田島団地（1,895戸）完成、 入居開始	"	" 5月	県立北浦和公園開園
"	" 8月	土合合同庁舎（支所・公民館・農協） 完成	"	" 6月	美園支所・公民館新築落成
"	" 11月	市立南高等学校校舎完成	"	"	市民体育館、駒場に完成
"	" 12月	南浦和駅西口で武蔵野線起工式举行	"	" 10月	市民憲章制定
1966	41年2月	埼玉大学教育学部移転	"	"	モクセイを市の木として制定
"	" 4月	荒川左岸流域下水道組合設置	"	"	農業者トレーニングセンター、大崎 に開設
"	" 5月	埼玉会館落成式举行	"	" 12月	名誉市民に本田直一・長沼新平・栗原 浩・大沢雄一の4氏推挙
1967	42年5月	交通災害共済実施	1976	51年3月	市庁舎完成、移転執務開始
"	" 6月	養護老人ホーム「年輪荘」開所	"	" 5月	市立常盤公園、裁判所跡地に開園
"	" 9月	浦和駅西口市街地改造事業の計画決 定・事業決定	"	" 10月	市立図書館中央分館開始
1968	43年1月	名誉市民に松永東氏推挙	1977	52年4月	市立高等看護学院、三室市立病院構 内に設置
"	" 10月	浦和駅が列車停車駅となる	"	"	市立南郷ふるさとの家、福島県南郷 村に開設
1969	44年8月	大久保支所・公民館完成	"	" 7月	防災広報車「ふるさと号」消防本部 に設置
"	" 12月	埼玉大学教養学部、経済学部移転 （移転終了）	"	" 8月	第一回浦和おどり大会
1970	45年1月	市立南高等学校、サッカーで三冠王 （全国サッカー選手権・高校総体・国体）	1978	53年7月	南郷村にキャンプ場オープン
"	" 4月	学校給食センター完成	1979	54年3月	千葉県天津小湊に「しらさぎ荘」オー プン
"	"	大崎清掃工場完成	"	" 4月	テレビ埼玉開局
"	" 12月	老人福祉センター「和楽荘」完成	"	" 7月	原山市民プール完成
			"	" 10月	トカール市と姉妹提携調印式

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1979	54年10月	コミュニティセンター新築落成	1986	61年3月	埼京線新宿駅まで乗り入れ開始
1980	55年4月	仲町2丁目に立体駐車場オープン	"	"	土合支所・土合公民館落成
"	" 5月	下大久保に勤労者体育センターオープン	"	" 4月	市民体育館増築落成
"	" 7月	浦和セントラルガーデン開園	"	" 5月	さぎ山記念公園開園
"	" 8月	武蔵野線高架線わきの古タイヤ炎上 武蔵野線不通	"	" 8月	一般廃棄物最終処分場起工
"	" 9月	武蔵野線1カ月ぶりに全面開通	1987	62年2月	第一回浦和市功労賞贈呈式
"	" 10月	市民保健センター・市医師開館完成	"	"	沼影中継ポンプ場通水式
"	" 12月	下大久保に浦和斎場オープン	"	"	昭和水門起工
1981	56年3月	浦和駅西口市街地改造事業竣工	"	" 6月	東口開発事務所開所
"	" 4月	沼影屋内プールオープン	"	"	西部開発事務所開所
"	"	浦和駅西口市街地改造ビルオープン	"	"	浦和市平和宣言議決
"	" 10月	中国・鄭州市と友好都市提携調印式	"	" 7月	皇太子殿下、皇太子妃殿下献血運動 推進全国大会（文化センター）に御出席
"	" 12月	内谷地区で新幹線・通勤新線起工式	"	"	
1982	57年9月	駒場競技場（第二種陸上競技場）完成	"	" 10月	見沼ヘルシーランド落成
"	" 11月	浦和駅に中距離普通列車が全面停車	"	"	徳仁親王殿下見沼通船堀跡御視察
"	" 12月	高砂常盤線暫定開通	"	"	全国都市緑化フェア開催
1983	58年2月	老人保健法施行	"	"	高田誠画伯文化功労者として顕彰される
"	" 3月	市立病院の伝染病隔離病舎と結核病棟 改築完成（総合化第一期工事）	1988	63年4月	市内6農協が合併し浦和市農業協同 組合発足
1983	58年4月	大崎実習センター、大崎児童学園オープン、ふるさと歩道開設	"	"	皇太子妃殿下、清子内親王殿下、田島ヶ原サクラソウ自生地御視察
1984	59年3月	自転車放置防止条例制定	"	"	青少年宇宙科学館落成
"	" 4月	藤右衛門ポンプ場通水式	"	" 5月	一般廃棄物最終処分場「うらわフェニックス」オープン
"	"	名誉市民に長島恭助氏を推挙	"	" 8月	市立病院新棟落成
"	" 5月	ハミルトン市と姉妹提携調印式	"	"	浦和市人口40万人突破
"	" 6月	大崎事業所収集部門管理棟完成	"	" 9月	消防本部・中央消防署庁舎起工
"	" 7月	住民記録オンラインシステム稼働	"	" 10月	ホテル南郷落成
"	"	浦和駅前観光案内書「ウラワ・インフォメーション」オープン	"	" 12月	渡辺武夫画伯、芸術院会員に就任
1985	60年2月	浦和駅西口に立体機械式自転車駐車場オープン	1989	平成元年 4月	荒川総合運動公園オープン
"	" 3月	東北・上越新幹線上野大宮間開通	"	" 6月	市営球場全面改修完成
"	"	新特急浦和駅停車	"	" 7月	日本語国際センターオープン
"	" 4月	公共下水道整備促進三ヶ年計画スタート	"	" 11月	市立病院総合化
"	" 6月	税務オンラインシステム稼働	"	" 7月	市制施行55周年記念式典
"	"	別所排水路整備完成	1990	2年1月	土曜閉庁開始
"	" 7月	文化センター、南浦和図書館落成	"	" 3月	教育研究所落成
"	" 9月	埼京線開通	"	" 4月	浦和斎場増築落成
"	" 11月	第一回浦和市文化栄誉賞贈呈式	"	"	財務会計オンラインシステム稼働

## 付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1990	2年7月	子供議会開催	1994	6年4月	見沼自然公園開園
"	" 10月	昭和水門通水式	"	"	南箇公民館開館
"	"	消防美園出張所落成	"	"	北宿大橋竣工
"	" 11月	名誉市民に高田誠・相川曹司の両氏 推挙	"	" 6月	携 リッチモンド市と姉妹・友好都市提 本市で七都縣市合同防災訓練が開催さ れる
"	"	大谷場在家線・辻根線開通式	"	" 7月	第4次市勢振興計画基本構想まとま る
"	"	消防本部・中央消防庁舎落成	"	" 9月	教育情報ネットワークU開通
"	" 12月	沼影市民プールにアイススケート場 オープン	"	"	市内公共施設循環バス運行開始
1991	3年1月	市営墓地「青山苑」完成	"	" 10月	不用品交換情報システム稼働
"	" 2月	六辻水辺公園竣工	"	" 11月	「栄和市民の窓口」オープン
"	" 3月	三室野田線開通	"	"	第一回スポーツ文学受賞者決まる
"	"	南浦和コミュニティセンター開館	1995	7年1月	「武蔵浦和市民の窓口」オープン
"	" 4月	増田三男氏、人間国宝に認定される	"	" 2月	「与野駅市民の窓口」オープン
"	" 8月	ごみ減量対策市民連絡会議発足	"	" 3月	浦和市議会で3市合併促進決議
"	"	浦和ケーブルテレビネットワーク開 局	"	"	うらわくらしの博物館民家園オー プ ン
"	"	浦和市健康長寿のまちづくり基本計 画策定	"	" 4月	障害者複合施設「大崎むつみの里」 オープン
1991	3年9月	老人保健施設、ケアハウス起工	"	"	田島公民館オープン
"	" 11月	URAWA産業フェスティバル開催	"	" 6月	浦和市東訪問看護ステーション開設
"	"	さいたま新都心起工	"	" 7月	「埼玉高速鉄道」着工
1992	4年4月	浦和ふれあい館開館	"	" 8月	駒場スタジアムがリニューアルオー プ ン
"	" 4月	浦和市を本拠地とするプロサッカー 誕生	"	" 10月	武蔵浦和駅周辺地区第二街区市街地 再開発事業着工
"	" 8月	第一回ユアース 360花火大会開催	"	" 11月	第一回浦和とハーフマラソン開催
"	" 9月	中山道歩行者天国廃止	"	"	「ホテル南郷」に温泉が引かれる
"	" 10月	市民の窓口開設			
"	"	ごみ処理施設更新事業着工			
"	" 11月	東京外郭環状道路一部開通			
1993	5年4月	完全週休二日制実施			
"	"	見沼水川公園完成			
"	" 5月	サッカーJリーグ開幕			
"	"	グリーンヒル浦和開設			
"	"	荒川総合運動公園通り完成			
"	" 6月	新浦和橋開通			
"	" 7月	東浦和市民の窓口開設			
"	"	資料スポット開設			
"	"	大原競技場完成			